





# 令和3年度「オリンピック・パラリンピック・ムーブメント全国展開事業」



## 事業実施報告書

- |     |                                    |
|-----|------------------------------------|
| I   | スポーツ及びオリンピック、パラリンピックの意義や歴史に関する学び   |
| II  | マナーとおもてなしの心を備えたボランティアの育成           |
| III | スポーツを通じたインクルーシブな社会（共生社会）の構築        |
| IV  | 日本の伝統、郷土の文化や世界の文化の理解、多様性を尊重する態度の育成 |
| V   | スポーツに対する興味・関心の向上、スポーツを楽しむ心の育成      |

道府県・政令市名【鹿児島県】

学校名【日置市立飯牟礼小学校】

1 実践テーマ	①・II・III・IV・⑤（複数選択可）
2 実施対象者 (学年・人数)	飯牟礼小学校1年14人 2年8人 3年8人 4年14人 5年10人 6年10人（計64人） 飯牟礼幼稚園 9人 地域関係者 10人
3 展開の形式	(1) 学校における活動 ① 教科名（生活科 総合的な学習の時間） ② 行事名（ ） ③ その他（ ） (2) 地域における活動 ① イベント名（ ） ② その他（ ）
4 目標 (ねらい)	<ul style="list-style-type: none"> <li>パラリンピックの歴史や意義について知り、パラリンピックやオリンピック、スポーツへの興味・関心を高めることができるようにする。</li> <li>パラリンピアンとの交流を通して、子どもたちが自分自身の目標をもち、希望や夢の実現に向けて努力するきっかけがもてるようにする。</li> </ul>
5 取組内容	<p>(1) 事前学習</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>全校朝会で、管理職（校長・教頭）によるオリパラ事前講話を行った。</li> <li>パラリンピックの歴史についてまとめ、掲示した。</li> <li>パラリンピッククイズを作成し、取り組ませた。</li> <li>5・6年生が、総合的な学習の時間にパラリンピックやパラスポーツについて調べ、まとめた。本事業会場へ掲示し、子どもたちだけでなく保護者や地域の方にも見てもらった。</li> <li>パラリンピックに関する学習webサイトの紹介をし、調べ学習やクイズ等に取り組ませた。</li> </ul>     <p>(2) 本事業 期日：令和3年11月10日 9:40~11:25 講師 網本麻里氏（車いすバスケットボール 日本代表）</p>

	<p>① 講演          ② デモンストレーション          ③ 車いすの説明及び注意事項の確認          ④ 競技用車いす体験（全員）          ⑤ デモンストレーション（網本氏 VS 職員）          ⑥ 東京パラリンピックについての講演          ⑦ 質疑応答・感想発表・お礼の言葉</p>  <p>(3) 事後学習</p> <p>① 感想や思ったこと、考えたことを作文や日記にまとめた。          ② 網本氏へお礼の手紙や感想を書き、送付した。          ③ パラリンピアンや障害者理解に関する新聞記事等を掲示した。</p>  <p>〈子どもたちの感想より〉</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>先生たちとの対決でボールをどんどんシュートするところがかっこよかった。テレビで見た網本選手と同じだった。ほくも練習して網本選手に勝ちたい。(2年)</li> <li>バスケットボール用の車いすは回転が難しかった。網本選手のプレーや先生たちとの対決を見ると、とてもがんばって練習していると感じた。網本選手の「やらずに後悔よりやって後悔の方がいい」という言葉が心に残った。(5年)</li> <li>わたしはこれまで失敗をおそれて逃げ続けていた。でも網本選手の話聞いて「失敗をおそれずがんばろう」と考えるようにしたいと思った。(6年)</li> </ul>
<p>6 主な成果</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>子どもたちにとって、これまであまり興味をもていなかったパラリンピックやパラスポーツだが、事前学習でパラリンピックについて調べたり、パラリンピックに関するクイズ等に取り組んだりしたことにより興味・関心が高まった。</li> <li>パラリンピックの意義や東京パラリンピックの様子を網本選手から話を聞くことで、パラリンピックを身近に感じることができた。</li> <li>「行動しないで後悔するより行動して後悔した方がいい」「しんどいことはたくさんあるが、自分の目標やチームの目標のため、がんばりたい」などプロ選手の生の声を聞き、心を動かされた子どもたちがたくさんいた。</li> <li>車いすバスケットボール体験を通して、障害を持つ人への理解へとつながり、またスポーツをする楽しさも感じる事ができた。</li> </ul>
<p>7実践において工夫した点(事業の特色)</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>事前学習から事後学習まで各学年の発達段階に応じて活動することができた。</li> <li>これまで車いすに乗る機会がなく、さらに競技用車いすは全員が未経験だったため、全員が乗車体験できるよう時間を作った。</li> <li>これまでの生活の中で、障害者と交流をもつことがなかったため、講話や交流を通して障害者理解を深めるための機会とした。</li> </ul>

8 主な課題等	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 今回、講師の先生がなかなか決まらず、事前学習や準備が短期間での実施となった。もう少し長いスパンで他教科に渡った活動や学習ができればよかった。</li> <li>• 東京オリンピック・パラリンピック前に実施できていたら子どもたちの関心が高まり、より身近に感じながら観戦できたのではないかと感じる。</li> </ul>
9 来年度以降の実施予定	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 総合的な学習の時間に福祉に関する学習活動を計画している。</li> <li>• パラスポーツ体験ができるよう道具等の整備を進めようと考えている。</li> </ul>